

支援事例

商工会名	熊本市植木町 商工会	氏名	佐藤孝一	情報開示の可否	可
支援テーマ	販路拡大・販路支援	題名	古代米おはぎの販路開拓		

<支援企業の概要>

事業所名	喫茶てのは an	従業員	3	人	創業/ 会社設立	創業日	2019年1月1日
業種	飲食業	うち家族従業員	0	人		業歴	6年2ヶ月

○企業概要

平成31年の1月に高森町に開業し、古代米おはぎや米ぬかブラウニー、赤牛バーガーなど地元の素材を活かしたオリジナルの甘味や軽食を提供している。2019年9月までは土日のみの営業であった。2019年10月より平日営業も開始。コロナの打撃を大きく受け、2021年12月から非接触会計システムの導入やオンラインショップの開設し、焼き菓子・古代米おはぎの小売りを始める。

令和5年には事業再構築補助金にて「阿蘇の大自然を味わう！体験型ヒーリングコテージ宿泊事業」を実施。

○支援のきっかけ（相談内容）・支援前の課題

【支援課題・支援計画】

（支援課題）コロナにより飲食店の売上げが減少しており、冬季期間（1月から3月）の観光客減少対応が必要なため宿泊業への進出をするために、再構築補助金の活用が必要

（短期計画）再構築補助金による宿泊業への進出

（中長期計画）新事業の拡大 既存商品「古代米おはぎ」

（現状分析）

- ・強み→阿蘇郡の高森町、南阿蘇鉄道高森駅から徒歩2分のところに位置する古代米おはぎや米ぬかブラウニーなど全国的にも珍しいオリジナル商品がある
- ・弱み→物価高により、電気代、灯油代などの経費や仕入れ値が売上を圧迫している
- ・機会→2023年夏に南阿蘇鉄道全線復旧開通 高森駅前の再開発
- ・売れ筋商品・顧客ニーズの把握：赤牛バーガーなど地元の素材を活かしたオリジナルの甘味

○支援内容および支援後の状況・効果

フェーズ1 事業再構築補助金により宿泊施設整備支援

観光客をターゲットに喫茶店を営業していたが、コロナにより売上が減少したため。喫茶店敷地内にある民家をコテージに改修するために、事業再構築補助金申請を支援 専門家派遣を活用し計画書のブラッシュアップを図り採択を受けた。

フェーズ2 新商品販路開拓支援

阿蘇、高森町の豊かな湧き水とオーガニック素材を仕様したメニューで、来店する方に向けて町の豊かさをアピールするとともに、喫茶×整体という独自のスタイルで健康への関心を高めていきたいとの事業主のコンセプトから、冷凍古代米おはぎの販路開拓として肥後もっこすのうまかもんグランプリへ出品、ベストセレクションに選ばれる。

フェーズ3 EC販売支援 五穀おはぎ

肥後もっこすのうまかもんグランプリ受賞での販路を活用し、マスメディアへの商品紹介・鶴屋への祭事参加などにて店舗の知名度向上をはかり、冷凍おはぎのEC販売を軌道にのせる。

事業再構築補助金にて整備するコテージについても、喫茶事業との相乗効果が期待できる。

○今後について（目標や課題など）

今後は、高森駅前再開発に伴う観光客に対応するために宿泊業と飲食業による相乗効果とインターネットによる販売など多角的に売上構造を醸成する必要がある。